



市民病院

ハちゃん通信

11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です

問 市民病院感染制御室 ☎ 48-5050

皆さんはAMRという言葉を知っていますか？

感染症を引き起こす微生物に対して薬が効かなくなること「薬剤耐性」と呼び、英語でAntimicrobial Resistance=AMRと略されます。

AMRは世界中で問題となっており、このまま何も対策をとらない場合、2050年には1,000万人の死亡が想定されています。これは現在世界の死亡順位1位の悪性腫瘍による死亡者数を超えるといわれています。そのため、国は毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」として定め、様々な啓発を行っています。

▼みんなでできることから始めよう！

～薬剤耐性(AMR)について考えてみませんか？～

期間中は市民病院でも、薬剤耐性(AMR)についてのポスター展示やリーフレットの配布を行います。また、相談窓口(予約不要)を設置します。

「知らなかった」「言われてみれば」「つつい…」など、疑問の解決や新たな発見が得られると思います。

皆さん一人ひとりの力でできることもあります。

一緒に薬剤耐性(AMR)について考えてみませんか？

時 11月5日(火)～8日(金)

所 市民病院



11月14日は世界糖尿病デー 全国糖尿病週間にあわせてイベントを開催します

問 市民病院生理検査室 ☎ 48-5050

11月14日はWHOが提唱した世界糖尿病デーです。糖尿病が世界的に拡大しているのを受け、糖尿病に対する注意喚起、重症化の予防や治療継続を呼びかけるキャンペーンが世界中で行われます。このキャンペーンでは、青い円＝ブルーサークルをシンボルマークとして用いたり、歴史的な建造物を青色でライトアップしたりすることで糖尿病に関する啓発活動を行っています。

今年のテーマは“みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」”です。ダイアベティスとは糖尿病の英語での呼び名Diabetes(ダイアビーティス) mellitus(メリタス)に由来しています。今でも「糖尿病」という言葉によって受ける誤解や偏見が根強くあります。そこで、2023年に糖尿病に対する正しい理解を促進するために「ダイアベティス」という呼び名が提唱されました。糖尿病があるないにかかわらず、この機会に糖尿病とうまくつきあっていく方法を一緒に考えてみませんか。

11月14日を含む1週間を日本では全国糖尿病週間としており、市民病院でもイベントを開催します。

▼全国糖尿病週間関連イベント

時 11月12日(火) 9時～13時 所 市民病院

内 血糖測定、HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)測定、動脈硬化の程度(血管年齢)がわかる検査、体組成チェック、各種相談(お薬・栄養・歯周病・眼科)、糖尿病関連グッズがもらえるスタンプラリー、医師による講演会(10時～10時30分)

¥ 無料 申 不要

